



第4回執行委員会①

4月11日（木）14時～地本会議室

経過報告

- 1月30日、第3回執行委員会
- 名島さん（千葉）送別会
- 2月5日、ダイヤ改に関する団交
- 13日、千葉駅宣行動
- 3月2日、拡大地方委員会
- 9日、春闘総決起集会
- 16日、ダイヤ改「正」
- 4月11日、諸要求の団交
-

大会等、動員関係については当紙、及び SOGA 班新聞にて掲載済みであります。

名島さんの送別会では、集合写真が撮れなかったことで、残念であり、本人にも申し訳なかったと報告がありました。



子育てもしやすい

女性の労働環境を！

結婚し、大変な思いで出産、子育ての育休を経て職場復帰し、働き続ける女性乗務員たち。最初は時短行路（現在は所定行路の分割行路となり、この名称は使いませんが・・・）で子供のことを心配しながら必死です。勿論、勤務終了後は一目散に子供の元へ。そんな時短行路が出来るのも、子供が3歳までであり、それを過ぎると本交番に入ることで、多くの女性乗務員から不満や不安の声を聞いてきました。「3歳では子供を放っておけない」「せめて小学校に上がるまでは必要」・・・等々。

特に夫婦揃って乗務員の場合は切実な問題となり、毎月の勤務調整の大変さから離職してしまった例もありました。

様々な考え方や、各家庭の状況で、一概にも言えませんが、この時短行路の「3歳まで」という制限は、会社全体で見直すべきであります。子育ても含め、女性社員も安心して働き続けられる職場を作りましょう！

（後日、特集を組みます）



ダイヤ改「正」後、問題点

要員関係 各職場とも少し前のひっ迫状態はなくなっているようです。が、勤務表の撤去により、正確な要員数等が把握出来ず、分からない部分が相変わらず多く、諸要求作りにも困難を来たしています。

行路・交番 鴨川では全体的にきつくなった旨の報告がありました。交番のひと回りが15日で、その中に3連休があるため、頻りに特休調整が行なわれることとなります（蘇我も同様）。

また、今後のワンマン化の拡大によっては「鴨川に車掌は要らなくなるんじゃないか」という心配の声も上がっています。会社が何を目指しているのか早急に追及し、安全第一の立場からこれ以上の合理化は許さない立場で取り組んでいく必要があります。

統括センター化による実態

統括センター化の拡大で、行き着くところは大合理化であることを、各職場内で広く訴えていかなければなりません。

成田統括センター内に2つの運輸区（銚子、佐倉）があり、今後の勤務指定も含めて、運営の仕方も心配されます。

駅業務の特に「券売機前での案内は苦痛でやりたくない」旨の報告もありました。